

第4次ひたち男女共同参画計画の令和5年度推進状況について

1 計画の令和5年度取組状況

- (1) 計画に掲げた 64 の具体的な取組は、概ね順調に推進している。
- (2) 一方、企画の再構築により遅れを生じた取組や、事業の利点について更なる周知促進を図る必要があるもの等、部分的な課題が見られる取組もあった。

表-1 取組状況の評価(64 の具体的な取組毎の評価) 詳細 別紙1のとおり

取組状況の評価	件数	構成比
S 計画より進んでいる	5	7.8%
A 概ね計画どおり	58	90.6%
B 計画より遅れている	1	1.6%
C 未着手	0	0.0%
合 計	64	100.0%

表-2 S:計画より進んでいる取組一覧 5件

基本方針	No.	具体的な取組 / 理由
Ⅱ あらゆる分野における女性の参画拡大	25	<u>就業及び起業支援講座の実施</u> 各講座への参加者数が、計画最終年度の目標指数を超えており、受講者の評価も高かったため。
	29	<u>職場環境整備に係る事業補助の充実</u> 就業環境整備促進事業に関して、当初予算を超える申請件数があった。そのうちの女性の就業環境整備に関する申請が昨年より伸びており、企業の就業環境に関する意識向上が図られたため。
Ⅲ 安全・安心な暮らしの実現	47	<u>相談体制の拡充</u> 女性生活相談について、電話回線の増設や時間延長を行ったことに加え、女性カウンセリング相談の開設日数を増やしたことで、全体として事業の拡充を行うことができたため。
	52	<u>生まれた環境に左右されない生活支援・教育支援</u> 地域子ども食堂に関して実施団体及び実施回数の増加が図られたため。また、生活困窮者自立支援事業(学習支援事業)における進学実績が高く、学習支援が充実しているため。
	55	<u>マイノリティに起因する様々な困難に配慮した相談事業の確保</u> 性的マイノリティ相談及び男性相談の開設日数を増やし、あらゆる人権に配慮した事業の拡充を行うことができたため。

表-3 B:計画より遅れている取組一覧 1件

基本方針	No.	具体的な取組 / 理由
I 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	9	<u>市政に参画する人材発掘のための大学生人材リストの作成</u> 「大学生人材リスト」については、若者世代を包括した新たな人材リスト作成へ移行するため、制度の見直しと等企画内容を検討しているため。

表-4 部分的な課題が見られた取組 2件

事業の取組は計画通り実施されたが、想定した効果が得られなかったもの。

基本方針	No.	具体的な取組 / 理由
II あらゆる分野における女性の参画拡大	24	<u>働き方改革推進モデル企業表彰及びケース紹介の充実</u> 働き方改革推進モデル企業推奨金事業に関して、申請実績がなかったため。
	34	<u>コワーキングスペース等地域における居場所の確保</u> マイクロクリエイションオフィスにおけるワークスペースの利用に関する増加の余地があるため。

(3) 基本方針ごとの取組状況(概要)について 別紙2のとおり

2 添付書類

(1) 目標指標一覧 別添のとおり

以上

第4次ひたち男女共同参画計画 取組状況調査

施策の方向性	取組の柱	具体的な取組数	R5評価			
			S	A	B	C
基本方針Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備		17	0	16	1	0
1 男女共同参画の視点に立った環境整備	(1)固定的性別役割分担意識の解消に向けた情報発信の充実	2		2		
	(2)育児・介護等の負担軽減のための環境整備	3		3		
	(3)多様性に配慮した公共施設の整備促進	1		1		
【重点項目】 2 教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革、理解の促進	(1)地域・家庭における男女共同参画の視点の強化	3		2	1	
	(2)人生の選択肢を広げるキャリア教育の充実	2		2		
	(3)いつからでも学び直しができる生涯にわたる学習機会の充実	1		1		
	(4)メディアリテラシーの向上	1		1		
3 男女共同参画に関する国際的な協調	(1)国際理解の推進	2		2		
	(2)国際的な視野を持つ人材の育成	2		2		
基本方針Ⅱ あらゆる分野における女性の参画拡大		26	2	24	0	0
1 政策・方針決定過程への女性の参画拡大	(1)女性人材・女性リーダーの育成	2		2		
	(2)女性の政策決定過程への参画を進めるための環境整備	2		2		
【重点項目】 2 雇用等における男女共同参画の推進と仕事と家庭の調和	(1)ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた個人・事業主双方の意識啓発	3		3		
	(2)女性が活躍するための学習機会及びサポート体制の充実	4	1	3		
	(3)女性が安心して就業できる環境づくり	2	1	1		
3 地域における男女共同参画の推進	(1)地域力を高める人材の育成・環境づくり	2		2		
	(2)UIJターンの促進に向けてのサポート体制の充実	3		3		
	(3)情報発信機能の充実及び通信環境の整備	3		3		
4 科学技術・学術における男女共同参画の推進	(1)理工系分野への女性参画拡大に向けてのサポート体制の充実	3		3		
	(2)学生に対する理工系分野を担う女性人材の育成強化	2		2		
基本方針Ⅲ 安全・安心な暮らしの実現		21	3	18	0	0
1 女性に対するあらゆる暴力の根絶	(1)DV被害防止のための人権教育・啓発活動の充実	3		3		
	(2)各種相談体制の充実と被害者保護・支援に向けての環境整備	2	1	1		
【重点項目】 2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	(1)誰一人取り残さない多様な働き方の実現	3		3		
	(2)子どもへの貧困対策・教育環境の充実	2	1	1		
	(3)性的マイノリティ等の人権に配慮したダイバーシティ社会の実現	2	1	1		
3 生涯を通じた健康支援	(1)若年層に対する様々な視点からの健康教育の推進	2		2		
	(2)選択肢としての結婚・出産の希望がかなう社会づくり	2		2		
	(3)生涯を通じた女性の健康保持対策の推進	2		2		
4 防災・復興における男女共同参画の推進	(1)女性防災人材育成の促進	2		2		
	(2)あらゆる人に配慮した防災体制の構築	1		1		
★評価(進捗状況)・・・S:進んでいる、A:概ね計画どおり、B:計画より遅れている、C:未着手		64	5	58	1	0

基本方針 I

施策の方向性

- 1 男女共同参画の視点に立った環境整備
- 2 **【重点項目】**教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革、理解の促進
- 3 男女共同参画に関する国際的な協調

【施策の方向性1】

男女共同参画の視点に立った環境整備

男女共同参画をすすめるつどい 2023 (女性若者支援課)

作品表彰式及び講演会を実施 参加者 344 人



講演会:「世界がもし100人の村だったら
~52人が女性、48人が男性です~」
池田香代子さん(ドイツ文学翻訳家)



「男女共同参画に関する小学生の
絵画・中学生の作文」表彰

市内で活躍している団体の活動紹介展示



【施策の方向性 2】

【重点項目】教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革、理解の促進



家庭における啓発(小学5年生向けシート) 応募件数 439 点

女性の人材育成事業
参加者 15 人



リカレント教育プレ講座の開催
2日間実施 参加者 延べ37人

【施策の方向性3】

男女共同参画に関する国際的な協調

国際女性デー展示(2/26~3/11)

国際的なジェンダー平等を尊重する記念日である「国際女性デー」に併せ、記念日について広く市民に周知するための展示を行った。



日本の現状

6月21日に発表されたGGIによると、日本は146か国のうち125位で、昨年の116位から9ポイント後退し、主要先進国(G7)の中で最下位、アジア諸国の中で韓国や中国、ASEAN諸国より低い結果となりました。

日本は、「教育」、「健康」の順位は世界トップクラスの値である一方、「経済」及び「政治」、特に政治は138位と女性参画が遅れています。

ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2023年

※ 過去最大のジェンダー・ギャップ指数2023年 (106.3755KB) □

※ 男女共同参画委員 ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2023年

緊急情報

緊急情報なし

現在の位置: トップページ ▶ 文化・交流・スポーツ ▶ 市民活動・市民交流 ▶ 男女共同参画 ▶ ジェンダー・ギャップ指数から見える日本の課題(男女共同参画)

ページID1007898 更新日 令和6年1月24日

ジェンダー・ギャップ指数から見える日本の課題(男女共同参画)

ジェンダー・ギャップ指数とは

スイスの非営利財団「世界経済フォーラム(World Economic Forum)」が、各国における男女格差を数値化しランク付けしたもので、略してGGI(Gender Gap Index)と言います。この指数は「経済」「教育」「健康」「政治」の4つの分野のデータから作成され、「0」が完全不平等、「1」が完全平等を表し、得点が「1」に近いほど、男女格差が少ないことを示しています。

日本の現状

6月21日に発表されたGGIによると、日本は146か

市ホームページでの国際基準の周知
「ジェンダー・ギャップ指数に関する啓発記事を掲載

基本方針Ⅱ

施策の方向性

- 1 政策・方針決定過程への女性の参画拡大
- 2 **【重点項目】**雇用等における男女共同参画の推進と仕事と家庭の調和
- 3 地域における男女共同参画の推進
- 4 科学技術・学術における男女共同参画の推進

【施策の方向性1】

政策・方針決定過程への女性の参画拡大



女性団体等への研修機会への充実(18人参加)



女性団体の活動を紹介する展示



女性人材リストに登録する女性を募集

【施策の方向性2】

【重点項目】雇用等における男女共同参画の推進と仕事と家庭の調和

女性デジタル人材育成講座
5日間実施
参加者 延べ46人



女性デジタル人材育成講座
イメージをつかむため、企業
訪問を行った。



雇用センター多賀における就業支援
(利用数 1,464人 うち女性872人)



女性の就業専門資格取得等補助金

【施策の方向性3】

地域における男女共同参画の推進



日立市コミュニティ活動推進
行動計画に即したコミュニティ
プランの改定を実施



女性向け観光情報誌で日立市の魅力をPR



若い世代を対象とした活躍の場の創出や、日立市への移住を促進する
ための情報を提供。地域の多様性を育むための取組を行った。



市ホームページより

【施策の方向性4】

科学技術・学術における男女共同参画の推進

○女性の就業専門資格取得等補助金(再掲)

プログラミング関係の資格を対象として増やした

○企業紹介及び求人PR 動画作成(理工系PR強化)

○ONPO 法人日立理科クラブの人材を活用した小・中学校、義務教育学校における授業支援(希望校)



日立版リコチャレロールモデル講座(中学生対象)

基本方針Ⅲ

施策の方向性

- 1 女性に対するあらゆる暴力の根絶
- 2 **【重点項目】** 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備
- 3 生涯を通じた健康支援
- 4 防災・復興における男女共同参画の推進

【施策の方向性1】 女性に対するあらゆる暴力の根絶

デートDV (恋人間の暴力)
～周りで気づいたときにできること～

11月9日(木)
午後1時30分から午後3時30分まで

会場: 日立市女性センター 4F 多目的ホール

講師: 阿部 真紀さん



女性生活相談に加え、臨床心理士等による「女性カウンセリング相談」を拡充。
(併せて、男性電話相談、性的マイノリティ電話相談の日程も拡充)



市内公共施設等におけるパープル・ライトアップ(女性センター、日立駅、日立シビックセンター)

公開講座を実施 参加者 35人

【施策の方向性2】 **【重点項目】** 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備

- 生活困窮者自立相談支援事業 相談受付1,245件
- 就学援助制度 認定者数 957 件(小・中学校)
- 地域子ども食堂運営補助事業 実施団体 10 開催回数 373 回
- 相談事業(市民相談室・多賀市民相談コーナー) 一般相談 相談件数3,241件



資格を手に入れる講座(日立市らぼーる協会共催) 4種類 参加者 合計 71人

LGBTQの子どもの気持ち
～共生社会をめざして～

8月3日(木)
13:30 ~ 15:30

会場: 日立市女性センター 4F 多目的ホール

講師: 永瀬 大紀 さん (にじっぴん 代表)

参加費: 無料

対象: どなたでも

定員: 20名程度

申込み: 随時受付

託児: 無料 (7/21(木)までに申請して申込み)

主催: 日立市らぼーる協会

公開講座を実施 参加者 45人

【施策の方向性3】 生涯を通じた健康支援

- いのちの教育(小学校) 市内 25 校 参加者 児童1,099人 保護者938人 その他2人
- いのちの教育(中学校) 市内 17 校 参加者 1,257人
- ライフプラン教育(高校) 市内8校9回 参加者 1,492人
- 「ひたち発 ラジオ体操 それ♪1 2!3!!」 期間 7/21~8/31 参加者数 20,855人



キャンペーンの実施
薬物乱用防止啓発活動 3回
喫煙防止啓発活動 2回



市女性管理職に対する研修会の実施
女性の健康管理の必要性に関する理解促進と周知を図る取り組みとして実施。

【施策の方向性4】 防災・復興における男女共同参画の推進

- コミュニティにおける自主防災組織に占める女性の割合を調査し、情報を共有した。
- 日立市防災士養成講座の実施 受講者 82人(うち女性23人) 合格者 77人(うち女性22人) 合格率 94%



男女共同参画セミナー
「考えよう 災害時にできること～女性の視点、多様な視点で考える防災・減殺」参加者 36人

考えよう 災害時にできること
～女性の視点、多様な視点から考える防災・減殺～

7月23日(日)
午後1時30分～3時30分

会場: 日立市女性センター 4F 多目的ホール

講師: 宗片 恵美子さん (特定非営利活動法人イコールネット協会 事務理事)

参加費: 100円(資料代含む)

対象: どなたでも

定員: 先着50名

申込み: 随時受付

託児: 無料 (7/14(金)までに申請して申込み)

主催: 日立市らぼーる協会

計画の目標指標一覧

※令和8年度までに達成する目標値

基本方針／施策の方向性／項目		実績値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R8年度)
基本方針Ⅰ	1	固定的性別役割分担意識を持たない市民の割合	男 50.9% 女 60.0%	-	-			男 60% 女 70%
		保育や介護が充実していると思っている市民の割合	男 24.6% 女 30.9%	-	-			男 34% 女 40%
	2	家庭生活において男女の地位が平等と感じる人の割合	男 38.8% 女 23.5%	-	-			男 50% 女 50%
		大学生人材リストの登録者数	-	9人	0人			30人
		広報媒体を活用した女性ロールモデルの活動紹介数	-	調査検討	2回／年			5回／年
	3	国際交流事業の参加者数	4,211人 ^(R元) 938人	4,138人	3,489人			4,400人
基本方針Ⅱ	1	審議会等に占める女性委員の割合	28.2%	26.4%	27.3%			40%
		女性人材リスト登録者数	32人	30人	25人			40人
	2	就業専門資格取得等補助を受けて就業した女性の人数	12人	5人	4人			15人
		女性の就業支援講座を受講した人の数	67人	176人	137人			100人
		離職理由について「仕事と家庭の両立が難しい」と答えた女性の割合	11.0%	-	-			10%
	3	3年間に地域活動に不参加だった理由が「きっかけがない」と思っている50歳未満の人の割合	男 54.9% 女 46.0%	-	-			男 45% 女 36%
		街なかマイクロクリエイションオフィスからの創業者数	5件／年	1件／年	4件／年			5件／年
	4	学生に対する理工系分野に係るロールモデル講座の実施数	-	調査検討	1回／年			1回／年
基本方針Ⅲ	1	若年層に向けた人権啓発講座等の実施数	4校	18校	24校			25校
		DV相談窓口の認知度	男 33.5% 女 43.3%	-	-			男 45% 女 51%
	2	地域子ども食堂実施箇所数	8か所	9か所	11か所			13か所
		地域わんぱく隊体験事業参加者数	611人 ^(R元) 298人	896人	571人			600人
		性的マイノリティを理解する講座参加者数	43人	21人	45人			60人
	3	子宮頸がん検診・乳がん検診受診数	子宮2,437人 乳 3,600人	子宮3,455人 乳5,446人	子宮3,478人 乳5,545人			子宮4,400人 乳 7,000人
	4	地域における自主防災組織に関わる女性の割合	24.9% (R3)	25.3%	25.4%			40%

※1 実績値の「-」 … 新規事業のため、R2年度の実績値がないもの

※2 R5年度の「-」 … 「日立市に住む男女の生活と意識の調査」(R7年度実施)において数値を確認するもの